

解説

附属中学校 有友愛子 教諭 中学生が幼稚園児との交流で育成する「創造的思考力」と 「問題解決力」

コンピテンシー育成開発研究所 特任准教授 下島泰子

本授業は家庭科の「衣生活」と「幼児の生活と家族」の分野を扱い、「中学生が幼児と関わりを持つことにより、創造的思考が発揮されることをねらいとした」という。中学校学習指導要領の技術・家庭では「ものづくりを支える能力などを一層高めるとともに、よりよい社会を築くために、技術を適切に評価し活用できる能力と実践的な態度の育成」をすることと、少子高齢化を反映した「子育て理解のための体験」が提唱され、「実践的・体験的な学習活動」が重要視されている。

ものづくりに関わることでは「創造・工夫する力や緻密さへのこだわり」、授業で級友と毛糸の染色を行い、幼児の希望に沿うように染色するという取り組みでは「他者とかかわる力（製作を通じた協調性・責任感など）」を反映している。OECD の定義するコンピテンシーの1つである創造的思考力の中で、幼児の希望する毛糸の色を染める本授業には「視覚的表現」と「科学的問題解決」の要素が見出せる。